

仙台市海外展開チャレンジ支援メールマガジン

～仙台・東北から海外・タイ王国へ！～

発行：仙台市経済局産業振興課国際経済室

ウェブサイト

<http://www.city.sendai.jp/jigyosuishin/jigyosha/kezai/jigyosho/shien/kaigai/index.html>

目次

1. 仙台市海外展開支援活用者の声
2. 仙台市から海外展開支援のお知らせ
3. 他団体のセミナー・イベント等情報

事業者の皆さま

仙台市産業振興課国際経済室で海外展開の担当をしている赤井澤です。

コロナの影響による原料や部品不足が続いていますね。

我が家では1月末にipadを注文したのですが、半導体不足の影響でメーカーの供給が追いついていないようで、いまだに届いていない状況です。改めて事態の深刻さを身近に感じている今日この頃です。

早くコロナが終息して元の生活に戻れることを願うばかりです。

さて、今回は仙台市の海外展開支援を活用された企業様の声をお届けします。

◆仙台市海外展開支援活用者の声

仙台市による海外展開支援を活用された企業様の声を紹介し、活用のヒントなどをお伝えします。

今回は、オリジナルブランドのバッグや小物のオンライン販売等を行う（株）グラシウー代表取締役の阿部様にお話を伺いました。

株式会社グラシウー様の場合

株式会社グラシウー様の場合

活用した支援：仙台市輸出入チャレンジ支援助成金

活用事業：バングラディッシュからのカバンのサンプル輸入（平成 30 年）、海外向け EC サイト出展（令和 3 年）

ホームページ：<https://www.gracieux-japan.com/>

○御社についてお教えてください

弊社はもともとイメージコンサルタントをしていました。

2015 年からバッグ・小物のオリジナルブランドを立ち上げて、国内の百貨店で期間限定の出店やインターネット経由での販売などを行っています。

会社名の「グラシウー」はフランス語で優雅なという意味で、イメージコンサルタントとして内面・外面の豊かさを提案していきたいとの意図があります。

○海外とのビジネスを始めたきっかけをお聞かせください

以前、バングラディッシュのオールドダッカという地域でボランティアをする機会がありました。

この地域は皮革製品の生産が盛んで、製造工場がたくさんある地域だったこともあり、現地の人から記念品として皮の財布やカバンを作ってもらいました。

帰国後、これらの製品について周囲からの評判がよく、販売して欲しいとの要望がありました。

当時、東日本大震災の影響で企業研修などのイメージコンサルタントの仕事が少なくなったことも契機となり、現地で革製品を製造し国内で販売するというビジネスを始めました。

○海外展開をする上で苦労したことをお聞かせください

現地の工場に生産を任せる際には、言葉の問題だけでなく価値観の違いなどを伝えるのに苦労しました。

現地に直接出向き、すべてにおいて事細かに指導をしなければならないのですが、オーナーが理解できていてもスタッフの価値観が違うのでなかなか指示が伝わりませんでした。

最初の頃は、オーダーした 200 個のカバンのすべてが皮の表面に傷があったり裏地がボロボロだったり、とても販売できる状態ではないものが届きました。

また、日本でサンプルを作って現地に型紙と一緒に送ったこともあったのですが、サンプルがボロボロにされてしまって、その通りに作ってと言っても作れない状況だったこともあります。

現在までに色々な工場を試してようやく 6 社目で日本在住経験のあるオーナーの現在の工場に巡り合いました。

品質のいいものを作るためには、相手とコミュニケーションをとりながら理解を深めていくしかないと思います。

○EC サイト出展のきっかけを教えてください。

コロナによる感染拡大の影響で、百貨店への出店予定がキャンセルになるなど活動できない状況が続いたため、オンライン販売への取り組みとしてクラウドファンディングを活用しました。

店頭に並ぶ前の新しい商品を紹介して、定価よりも値引きした金額で支援をしてもらう形です。

活用したことで支援者の年齢や性別、好みなど店頭販売では得ることができないデータを得ることができ、それらを分析しながら、支援が増えるためのサイトでの見せ方など多くのことを学ぶことができました。

現在はページを改善しながら年 2 回出品し、多くのリピーターを得ています。

また、海外のクラウドファンディングも活用し、米国や欧州など世界各国からの支援を得ています。

今後は、台湾でのクラウドファンディングや EC サイト出展、現地百貨店への出店を検討しています。

昨年、これまでのクラウドファンディングの経験を活かして海外向け EC サイトにも出展を行いました。

まだ、始めたばかりなので、多くの人に見てもらえるためのサイトの構築や PR の仕方など、勉強しながら改善していきたいと思っています。

○仙台市のチャレンジ支援助成金はどのように活用しましたか。

これまでサンプルの輸入と EC サイト構築のために活用してきました。

商品製造のための現地工場を決める際に多くの工場にサンプル作成を依頼したのですが、助成金を活用することで様々なパターンのサンプルを作ることができ、現在の販売の土台を作ることができました。

また、今回の EC サイト出展も未経験の分野であり挑戦するにはリスクもありましたが、助成金による支援によってチャレンジのきっかけを掴むことができました。

今後、このチャレンジが良い方向に向かうように勉強していきたいと思っています。

○これからチャレンジする方々にアドバイスをお願いします。

コロナ禍で海外渡航ができないなど困難に感じる人が多いと思いますが、オンラインの活用で、現地に足を運ばずにコミュニケーションを取ることができるのはチャンスだと考えています。

悩んでいるのであれば、まず挑戦してみることです。

走りながらリサーチや勉強をしていくというやり方もありなのではないかと思っています。

悩んでいる間に時間だけが過ぎてしまうのはもったいないことです。

補助金などの情報を調べて、支援機関に相談しながらやってみる。

そこから見えてくるものがたくさんあると思います。

やってみて違うと思ったら軌道修正すればよいのです。

コロナ禍で何ができるのか考えながら、小さなところからでもいいのでやってみたいことに挑戦してみたいかでしょうか。

○インタビューは以上になります。ありがとうございました。

(インタビューを終えて)

阿部社長の「悩んでいるのであれば、まず挑戦してみる。やってみて違うと思ったらそこで軌道修正すればよい」とのお言葉は、これから海外ビジネスに挑戦しようという方の心の中のハードルをさげてくれたのではないのでしょうか。

また、助成金を使うことで色々なことにチャレンジすることができたとのこと。皆様も仙台市の支援などを活用して海外ビジネスにチャレンジしてみたいかでしょうか。

ビジネスの参考にしていただければ幸いです。

◆ ----- ◆
◇ 仙台フィンランド健康福祉センター推進協議会ビジネスセミナーのご案内

◆ ----- ◆
仙台フィンランド健康福祉センター推進協議会によるビジネスセミナーが開催されます。

セミナーでは、仙台-タイ経済交流サポートデスクを委託している東洋ビジネスサービス顧問の則竹医師より、急速に高齢化が進むタイにおけるヘルスケアの現状等についてお伝えするほか、IT×介護の先駆者である(株)ビーブリッド竹下代表より、介護における「ケアテック」の活用や、国の新たな取り組みである「科学的介護」推進の現状についてお伝えします。

介護・ヘルスケア分野に興味のある方は是非ご参加ください。

日時：3月16日(水) 14:40~17:00

申込締切：3月7日(月)

参加費：無料

開催方法：Zoomによるウェビナー

お申し込み方法：以下の項目について記載の上、推進協議会事務局
(sfwbc_kyogikai@city.sendai.jp)宛にメールにてお申し込みください。

①会社名／団体名、②所属・役職、③氏名、④電話番号、⑤Eメールアドレス
詳細はこちらをご覧ください

http://www.city.sendai.jp/jigyosuishin/jigyosha/kezai/sangaku/kyogikai/documents/17thbusiness_seminar.pdf

◇ 仙台市では、海外販路開拓にチャレンジする皆さまを応援します！

●仙台－タイ経済交流サポートデスク

コロナの影響でタイに渡航することが難しくタイについての情報収集ができずにお困りではありませんか？

仙台-タイ経済交流サポートデスクでは、タイ進出をご検討している皆さまとの Web 面談を行うことができます。

タイについて知りたいことがあれば是非ご利用ください。

“仙台市の海外展開”の取組みをご活用いただき、多くの企業様がタイ進出にチャレンジしていただくことをお待ちしております。

詳しくは、以下をご覧ください

<https://www.city.sendai.jp/jigyosuishin/jigyosha/kezai/jigyosho/shien/kaigai/support.html>

●仙台市輸出入チャレンジ支援助成金

「仙台市輸出入チャレンジ支援助成金」は海外展示会出展やサンプルの輸出入、E コマースサイト出展など海外展開に幅広くご利用いただける内容になっています。

特に今年度はコロナの影響を考慮し、オンラインの商談会などで使いやすいよう PR 動画作成費、オンラインでの通訳費の助成などを追加しています。

詳しくは以下のリンクをご覧ください。

<https://www.city.sendai.jp/jigyosuishin/jigyosha/kezai/jigyosho/shien/challenge.html>

タイ工業省産業振興局×（独）中小企業基盤整備機構 主催イベント

第 21 回 OTAGAI FORUM 開催

タイ工業省産業振興局は、多くの日本の政府関係機関や地方自治体と連携し、日タイ双方の経済交流を支援しています。

今回のイベントでは、独自の技術を持ちながらタイでの事業展開を検討する日本企業、日本企業との協業を希望するタイ企業がそれぞれの事業ニーズなどを交換いたします。タイ経済の最新トレンドを知ることができる貴重な機会となっておりますので、タイや ASEAN マーケット等に関心をお持ちの方は、ぜひご参加ください。

日時：令和 4 年 3 月 9 日（水） 15:30～18:30

開催方法：Zoom によるオンライン開催

参加費：無料

使用言語：日本語 / タイ語（同時通訳）

申込方法：下記 Google フォームよりお申込みください。

<https://www.t.ly/4XTI>

応募締切：令和 4 年 3 月 8 日（火）

◆ジェトロ主催セミナー/商談会/イベント情報

▼現地バイヤー（食品分野）による引き合い案件の提供

【WEB 商談会】 専門家発掘案件（食品分野）

有望バイヤーとのオンライン商談マッチング

通年

<https://www.jetro.go.jp/events/aff/1f917308aeb7471a.html>

▼海外在住講師による現地の最新マーケット情報等を品目別に解説

【WEB セミナー】 品目別セミナー

○東南アジアにおける日本産酒類の概況とマレーシア市場での可能性・ニーズ

<https://www.jetro.go.jp/events/afg/270e63772ba86df2.html>

○フィリピンにおける青果物市場の現状と日本産食品の可能性

<https://www.jetro.go.jp/events/afg/d4d51668cf88a4d0.html>

○中国における菓子市場の現状と日本産食品の可能性

<https://www.jetro.go.jp/events/afg/f58677d445c32949.html>

▼地域産品・伝統工芸品ブランドの海外展開や販路開拓をしたい方向け

【WEB セミナー】海外展開を目指す地域産品ブランディング・セミナー：

地域団体商標・地域ブランドをいかに活用するか

2022年3月4日（金曜）14時00分～16時00分

<https://www.jetro.go.jp/events/iaa/05d7de6200681831.html>

※このメールはこれまで仙台市産業振興課担当者から名刺交換させていただいた方や、仙台市のイベント等にご参加いただいた方にお送りしています。

配信停止を希望される方はお手数ですが、このメールのタイトルに（配信停止希望）と付記して返信いただければと思います。

バックナンバーはこちら

<http://www.city.sendai.jp/jigyosuishin/jigyosha/kezai/jigyosho/shien/mailmag.htm>

!

【発行】仙台市経済局産業振興課国際経済室

tel : 022-214-1005 fax : 022-214-8321

email : kaigai-challenge@city.sendai.jp
